

ID No.	2103
研究課題名	p53 変異と協調的に発がん制御に作用する分子の探索
研究代表者	中川 英刀 (理化学研究所・チームリーダー)
研究組織 受入教員 研究分担者	谷川 千津 (東京大学医科学研究所・助教) 松田 浩一 (東京大学・教授)
<p>研究報告</p> <p>平成28年度は、p53欠損マウスに生じた腫瘍の病理学的評価と核酸の抽出を実施した。75匹のp53欠損マウスに生じた116の種々の腫瘍を回収した。そのうち、コントロールを含め、50程度のサンプルについて、OCT包埋を作成した。切片をHE染色後、病理評価を行い、腫瘍細胞の割合および均質性を評価した。また隣接した切片からDNAおよびRNAを回収し、収量を確認した。今後、RNA,DNAのqualityも併せて評価した上で、解析を行う32症例を選択する。またCRISPR/CAS9のスクリーニングについては、大腸がん細胞株Hct116p53+/+, Hct116p53-/-細胞に対しレトロウイルスにてCAS9を導入したクローンを構築した。さらに、Welcome Trust Sanger研究所の遊佐博士より提供されるgRNAライブラリーをレトロウイルスにて導入し時系列でDNAを回収した。現在、次世代シーケンスにて解析中である。</p>	